

# 令和4年度 木祖小学校グランドデザイン



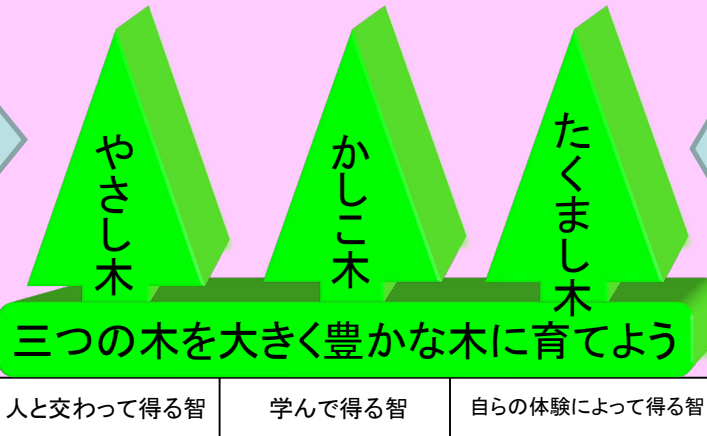
<羽ばたき>



<友愛の絆>

## 《本校の教育目標》

笑顔で登校、笑顔で下校できる学校づくりのために



- 【めざす子どもの姿】よく学び、よく遊ぶ**
- ①学校、地域で明るい「あいさつ」を自分からできる子(やさし木)
  - ②自分の考えをもち、意見や考えをしっかりと発信できる子(かしこ木・たくまし木)
  - ③友だちの意見や考えを取り入れ、自分の考えを高めていくことのできる子(かしこ木)
  - ④広い校庭・体育館でのびのびと遊ぶ子、毎日しっかりと体を動かす子(たくまし木)
  - ⑤学級のため、人のために役立とうとする子、困っている人を助けられる子(やさし木)

学力向上の基盤づくり

### □わかる・楽しい授業

～学力向上プラン～

- ☆授業改善の継続
  - 3観点(課題の板書・充実した思考・振り返りの記録)の重視
  - 学習環境や授業のユニバーサルデザイン化・合理的配慮
  - 個別最適な学びと協働的な学びの一体化による学びの充実(ICT機器の利活用等)

### ☆学習内容の確実な定着

- 自己学習力の育成
  - ・家庭学習の充実(宿題と自己課題学習)
  - ・「家庭学習の手引き」の活用
- かしこ木の時間」で基礎学力の定着
- 専科・ALTによる外国語教育

### ☆学力向上の基盤となる取り組み

- 学習規律の確立
- 聞き方、伝え方、関わり方のスキルアップ
- 読書活動の推進
- 学力検査の結果をふまえた指導(全国学調・NRT等)

### ☆教員の指導力向上に向けた研修

- 重点研究
  - ・自分事としてとらえる道徳の指導研究
  - ・自ら取り組む家庭学習のあり方
- 「資質・能力」を育てる学びの追究
- 同僚から学ぶ研修機会

### □体力の向上

- たくましきタイム
  - ・朝マラソンの継続(自分のめあてをもって)
  - ・体を動かす楽しさを味わう活動

### □居場所、楽しみ、存在感、自己肯定感を育てる学級づくり

- ・新しい生活様式に沿った安全な教育環境
- ・インクルーシブ教育の充実
- ・成長を自覚する自己評価
- ・どの子どもも安心できる学級(Q-Uの活用)
- ・学期ごとのアンケートと児童との相談日
- ・ソーシャルスキルトレーニングの積み重ね

### □木祖っ子活動 ～異年齢集団での交流活動～

- 社会力、意欲、自尊感情を育てる場
- 思いやり、支え合いを学ぶ
  - 役割の自覚と責任感を育てる
  - 伝え合い、関わり合う力を培う
  - ・木祖っ子班での活動・・・木祖っ子祭り、花壇づくり、集団遊び、全校運動、全校音楽、灯籠作り
  - ・木祖っ子班以外での活動・・・姉妹学級での共同活動
  - ・とちのみ保育園との交流

### □地域に開かれた学校

～ヒト・コト・モノとかかわりながら 木祖村の良さを学ぶ～

- 【木祖村コミュニティ・スクールの充実】
- 地域に根ざし、経験値を高める学習活動
    - ・生活科、総合的な学習の時間を核に木祖小独自のカリキュラムづくり
    - ・地域の知恵、技、心を学ぶ体験的活動  
学校周辺・地域調べ、伝統産業調べ  
地域社会見学、郷土食づくり、花壇づくり、源流夏祭り灯籠作り、あい愛メール、芸術にふれる活動
  - 地域指導者によるサポート
    - ・授業、地域社会見学、遠足サポート、マラソン大会サポート、花づくりサポート
  - 「もいちど小中学校」との交流・連携

### 学校を支える地域の活動

- <充実した社会教育・社会体育>
- ・すくすく倶楽部
  - ・相野山小との交流
  - ・社会体育(スキー、剣道、フットサル、空手、源流トラック、卓球、野球、バスケットボール、バレーボール等)
- <PTAとの連携>
- ・親子作業
  - ・資源回収
- <150周年記念事業>

創立150年  
に思いを  
寄せて